

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800269
法人名	医療法人 吉祥会
事業所名	グループホーム 美楽居
所在地	鹿児島県出水市平和町347番地 (電話) 0996 - 63 - 8000
自己評価作成日	平成29年1月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

病院が母体で医療の面でご家族にも安心をいただいている。職員の教育システムも整備され、毎月の施設内研修や施設外研修など学ぶ機会に多く参加できるように支援している。職員も資格取得に対して熱心で、介護福祉士の取得率は80%以上。介護支援専門員の資格取得にも積極的に取り組んでいる。また、今年度は吸引・痰の研修にも2名の職員が資格を取得した。10年以上勤務している職員が多く、情報の共有を大切にして、常に話し合い、スタッフ間のコミュニケーションを図りながら、全スタッフでチームケアができていると自負している

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・医療法人が母体で、広い敷地内には医療機関や老人保健施設が隣接されている。
- ・重度化や看取りケア・緊急時での医療面での対応が整っている。
- ・法人全体で各委員会を設置し、定期的に会議を開催し、全職員が質の高いケアを目指している。
- ・地域行事の文化祭に作品等を出品したり、キャラバンメイトで地域の集会や婦人会へ出向いて交流、法人行事への地域住民の参加があり、地域との交流を積極的に行っている。
- ・職員のチームワークが良く、ケアに対する活発な意見が出され離職者も少ない。資格取得に向けての取り組みもされている。
- ・季節ごとの行事を大切にして、行事食や赤飯・バイキング等、年間を通して楽しみ、利用者の笑顔が見られる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念は朝礼で唱和し、毎年理念を実践するために、目標を全員で話し合い決めている</p>	<p>法人の理念に添って、事業所で年間目標を作成し、達成度の振り返りを行っている。施設内への掲示と朝礼時の唱和で共有している。ミーティングや会議等で理念について話し合い理念に沿った支援を行っている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の方の運営推進会議への参加・地域のお店への買い物や地域のイベントへの参加など地域とのつながりを大切にしている</p>	<p>地域で行なわれる文化祭に作品を出品したり、小学生が夏に一泊キャンプに来たり、実習生や裁縫・演芸ボランティアの受け入れ、ホーム便り発行、キャラバンメイト活動、散歩時のあいさつや会話、家族や地域住民からの差し入れ等、地域との交流を行っている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域の認知症キャラバンメイトとしての活動、今年はRUN伴に利用者と共に参加した。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、利用者状況や行事の報告、事故やヒヤリハットの報告を行い、皆さんからの意見をいただいている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催している。事業所行事や活動報告・利用者の状況・事故・ヒヤリハット報告等を行い、不審者対策や駐車場入り口の植木剪定の提案があり、すぐ対応した事例がある。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎回運営推進会議や法人主催の夏祭りなど参加していただいている</p>	<p>市の担当者とは直接出向いて書類関係や事故報告、ホーム便りを届ける等、日頃から連携を取っている。必要時に相談してアドバイスを得ている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について定期的に全スタッフが学習し、玄関の施錠を含め具体的な行為を正しく理解している</p>	<p>身体拘束委員会があり、指針・マニュアルを基にヒヤリハットの事例を出し、振り替えりを行い検討している。禁句マナー集を勉強して、言葉での拘束がないように注意し、職員会議でも機会あるごとに意識付けをしている。日中は玄関の施錠はせずに自由な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>利用者を子ども扱いした言葉遣いをしない、尊敬を持った態度で接するなどの教育を徹底して行っている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在成年後見制度を利用している方や必要な方はいないが、いつでも対応できるように、理解を深めるようにしている</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退居時はもちろん、介護保険等の改定時も説明を行い新たに契約を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見や要望は専用の用紙に記入し、必要に応じて施設長に報告し、また、改善や対策が必要なものは、隣接する老健と合同で立ち上げている施設向上委員会で話し合っている</p>	<p>利用者からは暮らしの中での言葉や素振り・表情等から思いを把握できるようにしている。家族からは面会時に話しやすい雰囲気づくりに努めお茶を出してゆっくりと過ごしてもらい、意見や要望は申し送りノートや気づきノート・褒めノートに記録し、運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>普段から全職員が意見を言い合える雰囲気づくりを行っている。また、個別に面接やカンファレンスなども行っている</p>	<p>勤務年数の長い職員が多く、意見や提案をミーティングや昼食後の記録の時間に話し合っている。品質目標があり自己評価や管理者評価から個人的に面談を行っている。職員とのコミュニケーションを行い課題などを話し合っ運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>出来るだけ残業しない勤務体制、有給や勤務希望がとりやすい人員配置、毎年の昇給や資格手当など条件を整備している</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の施設内研修、外部研修への参加の奨励など行い、個別に面接等で力量を把握している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症キャラバンメイト・グループホーム連絡協議会等で、交流を図っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安や要望などにゆっくりと耳を傾け一つ一つの支援に確認を取りながら関係づくりを行っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	まず、要望や不安、現在の状況などに耳を傾けることを一番に考えゆっくりと関係づくりを行っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族との面談・前施設・担当ケアマネージャー・病院等から多く情報収集に努め、必要な援助がすぐできるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護者と利用者という立場ではなく、一緒に生活をするという視線でその方を理解しようと努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	昨年の敬老会は家族と職員が合唱団を創り歌を披露した。また、面会時には職員も一緒にお茶を飲みながら談笑することもある		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方への連絡や面会に来やすい雰囲気づくり、なじみのお店での買い物支援など行っている	家族や友人・知人の訪問時はお茶を出して楽しく会話し、面会に来やすい環境づくりに努めている。地域行事への参加や馴染みの眼鏡屋・化粧品の業者に来てもらったり、自宅周辺へのドライブに出かけたりしている。家族の協力を得ながら行きつけの美容院や外食・墓参り等を実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間のトラブル時は職員が間に入り、また、孤立しないように様子を見ながら必要時援助できるように心がけている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時のお見舞いや必要に応じて家族の相談を受けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言葉にできない方も多くいらっしゃるの、スタッフ全員でその方の毎日を観察し情報を共有して思いの把握ができるように努めている	その人らしさを知る為に、日頃の会話の中からや素振りから思いを把握し気づきノートに記録して情報を共有しケアにつなげている。把握が困難の場合は家族から情報を聞き、職員間で話し合い本人の思いに寄り添い支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来るだけ多くの情報を集め、その方を理解できる様にしている			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方のできる事・出来ないこと等全スタッフが情報を共有して把握に努めている			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成・モニタリングの際は、本人・家族・主治医・スタッフ等出来るだけ多くの方に参加をもらい作成している	利用者への担当職員を決めている。気づきノートや申し送りノートを参考にモニタリングを3ヶ月毎に、カンファレンスでは主治医の意見や家族と話し合い1年毎に、状況変化時はその都度の見直しを行い、介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の介護記録は毎日記録し、また、朝晩の申し送り・排せつのチェックなど情報を共有している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>必要時病院への付き添いや買い物援助など個別に行っている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>文化祭への作品出展や見学・マラソンの応援・花見など地域の中へ出かけ資源を活用している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体が病院であり医療の面では家族等から安心をいただいている。また、歯科との提携を結び往診での受診も行えるようにしている</p>	<p>本人や家族の希望を聞き、入居前からのかかりつけ医である。24時間医療連携体制が整っている。月2回の往診や専門医や他科受診については家族が支援を行い、必要時には職員が対応し家族へ報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>24時間オンコールで看護師との連携が取れ、深夜でも必要に応じてアドバイスや駆けつけてくれる</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時など詳細な情報を提供し、母体の病院のソーシャルワーカーとも連携を取り関係づくりを行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時にリスク説明や重度化した場合の考えを話し合っている。また、考えはいつでも変わって当たり前のも説明し、状態や必要に応じて何度も話し合いを主治医を含めて行っている</p>	<p>入居時に指針を基に家族へ説明し、同意をもらっている。法人でターミナルケア委員会が中心となり外部研修・内部研修を行っている。段階的に家族の気持ちに応じて対応している。家族の希望もあり重度化した場合には系列の老人保健施設での対応を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故の対応は定期的確認・学んでおり、実践できている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防火訓練の実施、職員の連絡網の整備・同敷地内の病院や老健との連携も出来ている</p>	<p>消防署の立会が1回、自主訓練が1回、昼夜間想定消防避難訓練を実施している。法人の連絡網確認やスプリンクラー、通報装置がある。非常時の水やインスタント食品・カセットボンベがある。緊急時は自治会からの無線がある。法人全体での協力体制が整っている。隣接する老人保健施設が地域の避難場所の指定を受けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>プライドや人格の尊重は何よりも大切にして、その方に合った声かけなど常に話し合っ実践している</p>	<p>人格の尊重やプライバシーを守り、丁寧な接し方や話し方を定期的に研修している。居室に入るときは必ず声かけをしたり、トイレはドアを閉めて近くで見守りをしている。排泄介助や入浴介助時には特にプライバシーを損ねないように言葉かけや対応に配慮している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ケアはゆっくりとその方の意思の確認を行い、意思表示できない方は表情を見ながら実践している</p>			
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>業務の流れは大まかにしか決めずに、その日、その方に合わせた流れになるように支援している</p>			
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>出来る範囲で着替えはその方に選んでいただき、散髪支援や衣服の調整を行っている</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	いただきますの声かけ、テーブル拭き、茶碗洗い、調理などその方に合せ、支援している	管理栄養士からアドバイスを心得てバランスのいい食事を提供している。利用者で食事当番制を行い、個々に応じて片づけやテーブル拭き等もしている。嗜好調査を行っている。中庭で食事をしたり、行事食や季節感のある食事の工夫をしている。鍋パーティーやバイキング・外食を計画し楽しい食事である。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂取量のチェック、その方に合わせた食事介助・食事の形態など状態に応じて援助している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必要に応じて口腔ケアの声かけや介助等その方に応じて行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その方の様子や表情を見ながらのトイレへの声かけ、さりげない観察、パットや下着の工夫など個別に支援している	排泄の自立支援に心がけ、排泄パターンの把握を行い、表情やしぐさからのサインや食後の時間を見てトイレ誘導をしている。オムツから改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便管理を行い繊維質の多い献立の工夫・適度な運動、必要に応じての下剤使用の支援を行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴は用意し、一人一人の意思を確認しながら入浴支援をしている	基本は週2～4回、日曜日以外は毎日の入浴を実施できる体制があり、希望があれば臨機応変に対応している。気分を和らげて会話が弾むようにしている。拒否のある利用者については、声かけや時間差の工夫で入浴を支援している。必要に応じて清拭や足浴も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	冬場は個人によっては湯たんぽを使用したり、寝具の調節など家族の協力も得ながら個別に援助している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬のファイルは事務所に保管し、全スタッフが目を通すようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日のレクリエーション・洗濯物たたみや、食後の片づけ、行事の時の挨拶などその方に応じ支援している</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日の散歩や、近隣へのドライブ・家族と一緒に外出や外泊などその方の希望に添えるように支援している</p>	<p>日常的に近隣の散歩や庭での茶話会・食事・買い物・花見・田植え・稲刈り風景の見物等に出かけている。ドライブで車中でのコミュニケーションを大切にしている。家族の協力を得ながら、地域行事や外食・外出の支援を行っている。車いすの利用者も一緒に外出している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金は小遣い程度であれば事務所預かりとしているが、本人や家族と確認を取りながら、買い物等の支援はいつでも行えるようにしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>あまり面会に来ることができない家族へは電話や手紙の依頼を行い。毎月近況報告書を郵送している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	中庭には季節ごとの花が咲き、ゆったりと明るい居間や食堂、常に清潔を心がけ皆さんが気持ちよく過ごせる空間づくりを行っている	広く明るい共用空間は換気や採光に配慮し清潔で、エアコンや加湿器がある。中庭には季節の花々が植えてある。食事スペースとテレビやソファの置かれたスペースに分かれており、好みの場所で居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆さん食堂や、居間で思い思いに気の合った方とおしゃべりしたり、一緒にいることで落ち着いている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真をいっぱい飾っている方、荷物がいっぱいある方、小さな祭壇がある方など面々に居室を整えている	居室には大きな出窓があり明るく温かみがある。ベッドやエアコン・洗面台・クローゼットが完備され、それぞれの利用者が自宅からテレビや花・写真等を持ち込み、本人と家族で相談しながら居心地良く過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	スロープ・手すり・車いすでも十分に利用できるトイレなど安全な環境である		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない